

新材料科学検討分科会議事録（第24期第2回）

日時：平成30年11月14日（月）14：00～16：30

場所：日本学術会議6階 6-C（1）会議室

出席者：山口，細野，河村，岸本，大竹，北村，小谷，小林，佐々木（一），笹木，高梨，中野，塙，福山，鈴木

出席者（15名）が定足数（9名）を上回っていることを確認して会議を開始した。議事録は、岸本委員が作成することとした。

1. 前回（第24期第1回）議事録の確認：承認

2. 「留学生問題と学会の国際化」について新井氏（東京大学客員研究員）から講演が行われた。科学技術政策におけるエビデンスの問題，東アジアの留学生の日本の科学技術への貢献をどう見るか，各学会における留学生へのフォローをどうするか等について議論が交わされた。

3. 塙委員より「バイオマテリアル研究を取り巻く環境」について報告があった。バイオマテリアルに関わる基礎研究の重要性，それに関わるファンディングエージェンシー（JSTとAMED）にあり方などが議論された。

4. 河村委員より「材料系学協会における国際交流活動の課題と展望」について報告が行われた。国際連携や材料系学協会の連携の在り方が議論され，見本となる日本主体の大規模材料系国際会議を設立・開催されることが重要ではないかという意見があった。

5. 小林委員より話題提供として「東レの研究・技術開発と実践事例」について報告があった。長期研究の運営方法，産学連携の在り方等について議論された。

6. 鈴木委員より，MRSJ並びにIUMRSの動向と日本MRSの開催（2019）について紹介があった。日本MRSが2019年12月に予定されており，会議開催に向けて今後各学協会との連携をどう進めていくかについて議論が行われた。

6. その他：

（1）次回は1月31日に開催を予定しているが，開催される場合は再度事務局より連絡を行う。

（2）歳事録は委員の確認をとるが，最終案の承認は委員長に一任することとした。